

受	令和 5年	8 月	25 日
付	午前・ 午後	1 時	15 分

一般質問（代表・**個人**） 通告書

令和 5年 8月 25日

尾張旭市議会議長 殿

氏 名 谷 口 武 司

尾張旭市議会会議規則第50条第1項の規定により 9 月
定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問項目の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 2 件

2 質問方法

	1回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問項目（大項目）ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1回目から 質問事項（大項目）ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



<p>質問事項</p> <p>No. 1</p>	<p>尾張旭市自然環境基礎調査による生物多様性について</p>
<p>要旨</p>	<p>令和5年3月に「尾張旭市自然環境基礎調査」の報告書が公表されました。前回の調査が平成12年という事で、実に20年ぶりの調査でした。この20年の間には、生物多様性を謳った愛知万博、生物多様性条約に関連して2011年から2020年を期間とする愛知目標が決定されるなど、愛知を冠する大きな話題もありました。20年ぶりの自然環境基礎調査は現時点のデータを正確に残していく将来に対するベンチマークとしてとても大切な調査だったと思います。</p> <p>また、調査データを基にまとめられる予定の「生物多様性地域戦略」は環境課で作成している環境基本計画との関連だけでなく、「都市計画マスタープラン」や「緑の基本計画」との関係を示す作成の雛型が示されていたり、緑の基本計画の一部を生物多様性地域戦略として扱った事例も確認されています。</p> <p>そのようなことから、本調査は「公園都市」尾張旭市の環境をPRしていく事や、緑に関わる人材の育成、都市の資産となる緑地の保全・創出等の計画の基になっていく課題を見つけるための調査でもあったのだと思います。</p> <p>今回の質問では、今回の調査の方法と結果、生物多様性の保護についてお伺いしていきたいと思います。</p> <p>(1) 尾張旭市自然環境基礎調査について</p> <p>ア 調査対象地点はどのように決めたか</p> <p>イ 調査の季節や日数はどのように決めたか</p> <p>(2) 尾張旭市自然環境基礎調査の結果について</p> <p>ア 生態系で前回調査からの変化は</p> <p>イ 調査報告方法の変更点と作成に当たり重視したことは</p> <p>ウ 本市近郊の生態系ネットワークは維持されているか (ビオトープネットワーク)</p> <p>(3) 今後の生物多様性と生態系ネットワーク保護について</p> <p>ア 絶滅危惧種とされる生物・植物の生態系ネットワーク保護を</p> <p>イ 外来生物への対応強化を</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. 2	火災・救急出動状況と負担軽減資機材の導入について
要旨	<p>9月に入りましたが暑さを感じる日が続きます。国連の事務総長の発言で「地球温暖化の時代は終わり地球が沸騰する時代に突入した」と言わせるほど暑さを体感した夏でした。</p> <p>今回の質問では、本市の消防職員の出動状況を確認するとともに、空気が乾燥すると大きな災害となる火災の予防対策、秋になっても高温が予想されますので職員の出動時の暑さ対策はどの様になっているのかを質問させていただこうと思います。また、最近新聞等で報道のあった、消防職員の働く環境を改善し、傷病者を安全に搬送できるという電動ストレッチャーの導入について質問させていただきます。</p> <p>(1) 火災出動について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 直近5年の火災件数の推移はイ 火災予防対策はウ 消防職員の暑さ対策は <p>(2) 救急出動について</p> <ul style="list-style-type: none">ア 直近5年の救急出動件数の推移はイ 救急隊員の暑さ対策はウ 電動ストレッチャー導入は